

「小学生の音楽 6」(令和6年度用～)
p.22 ボイスアンサンブル

「カトカトーン」の活用例や
オススメ情報をお届けします!

カトカトーン 通信

vol. **7**

教育芸術社



ボイスアンサンブル

本資料では、カトカトーンの特長を生かすために、「小学生の音楽6」p.22～23の課題をカトカトーンで行ったあと、ボイスアンサンブルの活動に移る展開例を示しています。

STEP1

ktk ファイルを開く

カトカトーンを開き、「ファイルを開く」を選ぶ。



下記のファイル名を選択し、ktk ファイルを開く。



SUPPORT

●課題制作のために事前に設定されたプロジェクトファイルは下の二次元コードからダウンロードできる。事前に児童に配布しておくとい。



●この ktk ファイルでは、トラック3のリズムパターンは「小学生の音楽6」p.23に基づいたリズムがすでに打ち込まれている。

SUPPORT

「おたまチョップ」から、打ち込むノート（音）の長さを変更することができる。STEP 1 でダウンロードした ktk ファイルでは「おたまチョップ」が16分音符の設定になっている。

POINT

- 設定された条件に基づいてリズムパターンを即興的に検討していく過程により、音符と休符の関係について理解を深め、自分の意図した表現を導き出す技能を身につけることができる。
- ノートを埋めることだけが目的にならないように、無音（休符）の使い方も工夫するように促すと活動がより充実する。

STEP2 (個人)

1小節分(4拍)のリズムパターンをつくる

STEP 1 の ktk ファイルでトラック1の1小節目に右のリズムを使って4拍のリズムをつくる。



つくる際は、トラック3にすでに打ち込まれているリズムパターンを聴きながら音の重なり方を工夫して取り組む。

ルームがアクティブな状態

この状態になるとオトグラフにノート(音)が打ち込める



STEP3 (協働)

3人の組になり、それぞれのリズムパターンを聴き合い、トラック1とトラック2に2小節分(8拍)のリズムをつくる

① STEP 2 でそれぞれが作ったリズムパターンを聴き合う

例

A さん(楽器:すず)

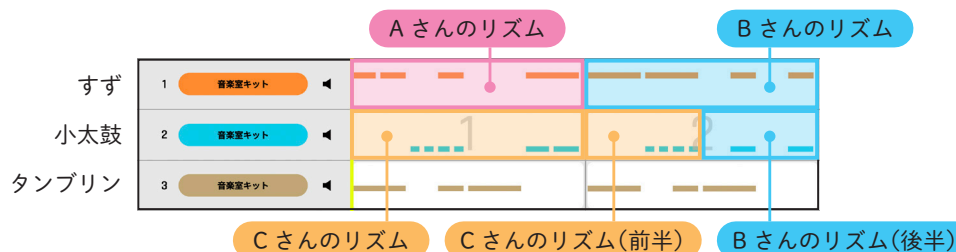
B さん(太太鼓)

C さん(小太鼓)



②リズムパターンを持ち寄り、重ね方としておもしろいリズムパターンを見つけ、代表者のカトカトーンに打ち込みを集約させる(手動)

※トラック1とトラック2のルーム1～2(1～2小節目)にリズムを打ち込む。リズムの組み合わせ方は下図のように様々なパターンが考えられる。また下図の例では、トラックごとに違う楽器を選択している様子を示している。



SUPPORT

リズムパターンの打ち込みを集約する際は、学習支援ソフトウェア等を活用し、ktk ファイルを共有しながら進める方法もある。

POINT

- 表現したリズムが、どのような意図や思いを持ってつくられたかを児童に説明させることで、お互いの作品を理解し、その後の対話的な活動に繋がる。
- 聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて、打ち込んだ内容をもとに話し合うよう授業を設計するとよりよい活動となる。
- カトカトーンを使用することで、おもしろくなる音を即興的に選択したり組み合わせたりして表現することが簡単にできる。

STEP 4 (協働)

全体構成を考える

全体のまとまりを考えて、パートの重ね方や終わりの部分を工夫しながらリズムアンサンブルを完成させる。

▼全体構成のイメージ図



SUPPORT

ルームのコピー機能を活用して全体構成を決める。ルームはドラッグすると別のルームへコピーできる。トラック内で連続する複数のルームもまとめてコピーできる(最終ページ参照)。

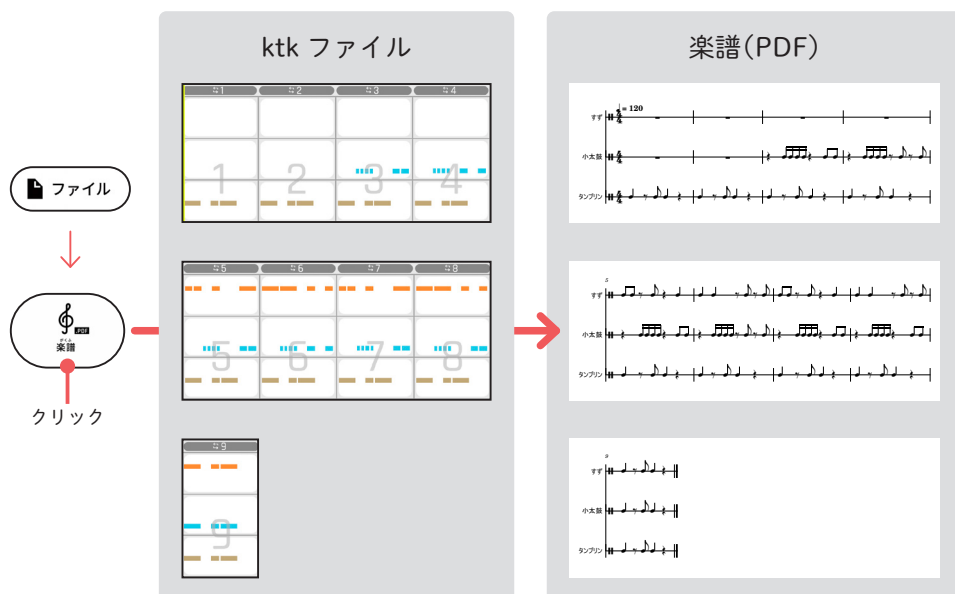
POINT

- 個々の音やリズムパターンの組み合わせを3人の組で考えることで、協働して音楽活動をする楽しさを味わえる。
- 音を介したコミュニケーションが生まれ、対話的な学びに繋がっていく。

STEP 5

完成したファイルを楽譜にして提出する

📁 ファイル ボタン内の【楽譜】ボタンから楽譜として書き出すことができる。



POINT

楽譜にすることで、音の重ね方の工夫や全体構成を振り返りやすい。音符や休符の役割についてより理解を深めることができる。

SUPPORT

- 完成したリズムアンサンブルに言葉を書き込む際は、学習支援ソフトウェアを活用してPDFに書き込む方法や、印刷して書き込む方法などがある。その他にも、オトグラフ内に表示されるノートをスクリーンショットして書き込む方法も考えられる。学校の環境に合わせて、適切な手段を検討する。
- ボイスアンサンブルを練習する際には、ループ機能を活用すると反復練習時に有効である。また、設定されている速さ(テンポ)は、ルールボタンから変更できるため、最初はゆっくりした速さから練習するなど、状況に合わせて機能を活用するように伝えよう。

STEP 6 (協働)

完成したリズムに声を当ててボイスアンサンブルをつくる

STEP 5 までの活動で完成したリズムに声を当ててボイスアンサンブルをつくる。書き出した楽譜(PDF)に言葉を書き込む。

言葉の例：



ADVICE

旋律と重なることで変化する音楽の響きを感じ取り、旋律に合わせて柔軟にリズムアンサンブルを変化させる技能が身につくとよい。

Challenge

トラック 4 に旋律を加えてみよう

好きな曲や身の回りで聴く音楽、自身でつくった音楽などの旋律を、トラック 4 に加えてみよう。

※打ち込む旋律に合わせてリズムの全体構成を適宜変更するとよい

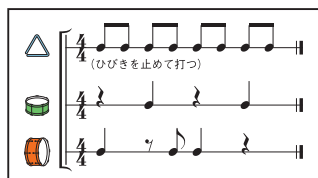
SUPPORT：操作上の補足説明

POINT：指導上のポイント

ADVICE：発展的な内容

ミニドリル

- Q.1** トラック1の4拍目に4分音符のノートをうちこもう。
(楽器はカスタネット)
- Q.2** トラック2で入力されているノートを4分の1の長さに変えよう。
- Q.3** トラック3で入力されているノートを移動して、「大太鼓」の音で鳴るようにしよう。
- Q.4** 3拍目に「」を3等分した音符  をうちこもう。
(楽器はトライアングル)
- Q.5** トラック5に右のリズムをうちこもう。
楽器は次の中から選ぶ。
- ・トライアングル (ミュート)
 - ・小太鼓
 - ・大太鼓



ミニドリルのやり方

①回答用 ktk ファイルをダウンロードする



②問題の答えをうちこむ

1	ピアノ	Q.1の答え
2	ピアノ	Q.2の答え
3	ピアノ	Q.3の答え
4	音楽室キット	Q.4の答え
5	ピアノ	Q.5の答え

トラックごとに再生して音を確認する

③楽譜にして先生に提出する

ファイル ボタンをおして曲名を自分の名前に変更し、楽譜で書き出す。書き出した楽譜を先生に提出する。



ミニドリルは、本紙の STEP を始める前にウォーミングアップとして使用すると、音楽づくりの活動を進める際に効果的です。



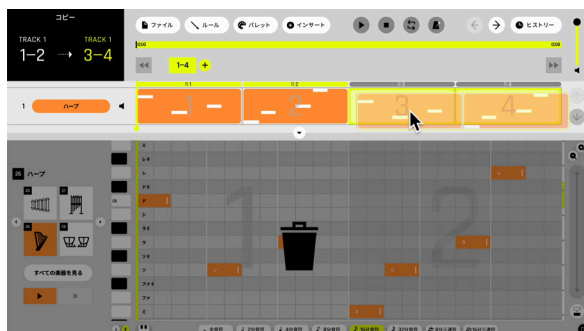
ミニドリルの解答例
(楽譜 PDF、ktk ファイル)

操作方法

ルームをコピー、削除する方法

コピーしたい「ルーム」を他の「ルーム」にドラッグ&ドロップすると、ドロップした先にコピーすることができます。この操作は、複数の「ルーム」を選択した状態でも可能です。

「ルーム」をドラッグした時に表示される下段の「ゴミ箱」にドラッグ&ドロップすることで、その「ルーム」に打ち込まれたノートを削除することができます(小節数は変更されません)。



本編でつくられた
ファイル

本資料の二次元コードからアクセスできるデータは、以下の URL からご覧いただけます。

<https://www.kyogei.co.jp/katokatone/info/>

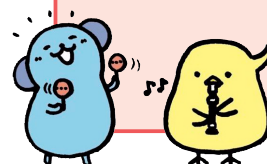


「カトカトーン」の詳細は右のウェブサイトをご参照ください。



カトカトーン4つのポイント

- WEBブラウザを通じて無料で使用できる
- 簡単な操作で打ち込みができる
- 100種類以上の音を選べる
- つくった音楽を共有できる



2025 年 1 月発行

株式会社 教育芸術社

〒171-0051

東京都豊島区長崎1丁目12番14号

Tel : 03-3957-1175 (代)

Fax : 03-3957-1174

